

## ゲーム開発全国大会

# 渡邊さん(徳島市立高2年)準優勝

東京のソフトウェア開発会社が高校生を対象に開いたゲーム開発の全国大会「Unity(ユニティ)インターハイ2017」で、徳島県内からは徳島市立高2年の渡邊大誠さん(17)の作品が準優勝に入り、徳島科学技術高2年の3人が準優勝に次ぐ審査員特別賞を取った。

準優勝に輝いた渡邊さん。準優勝に輝き、人の作品名は「急がば旋(テンポ良く敵を倒せて、転れ)」。キャラクターが誰もが楽しめるゲームに2段階ジャンプや高速移動、爆弾投げなどのアクションで敵を倒すたび、スピードを増して進んでいく。審査員から「なめらかな操作とゲームの難易度の調整が抜群だ」と評価された。

渡邊さんは高校の電子計算機部に所属。小学6年頃からゲーム作りを始め、独学で七つの対戦型ゲームなどを開発し

## 科技高チームは特別賞



ゲーム開発の全国大会で準優勝に輝いた渡邊さん(左2人)と審査員特別賞を受賞した徳島科技高生3人(右3人)とくしま産業振興機構

3人は県とくしま産業振興機構が主催する「クリエイティブログラマー養成講座」に参加。専門家のアドバイスをを受け、約5カ月かけて

作った。「1人だったら難しい作業も、皆で知恵を絞って作れたのがよかった」と語った。

大会は東京のソフトウ

(高田麻衣)